

Mizuho Daily Market Report

2023/6/1

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	139.74	139.34	▲0.45	▲0.13
EUR	1.0675	1.0689	▲0.0046	▲0.0061
AUD	0.6478	0.6503	▲0.0014	▲0.0041
SGD	1.3549	1.3516	+0.0011	+0.0021
CNY	7.1083	7.1085	+0.0286	+0.0476
MYR	4.6230	4.6130	+0.0105	+0.0195
THB	34.74	34.80	+0.01	+0.26
IDR	14998	14993	+8	+88
PHP	56.19	56.17	▲0.14	+0.39
INR	82.68	82.73	+0.01	+0.06

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.643%	▲4.4 bp	▲9.9 bp
日本(10年)	0.436%	+0.1 bp	+2.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.282%	▲6.0 bp	▲19.0 bp
オーストラリア(5年)	3.382%	▲6.8 bp	+1.0 bp
シンガポール(5年)	2.888%	▲5.5 bp	▲4.1 bp
中国(5年)	2.453%	▲2.4 bp	▲3.4 bp
マレーシア(5年)	3.459%	▲2.1 bp	▲5.9 bp
タイ(5年)	2.188%	▲3.1 bp	▲2.5 bp
インドネシア(5年)	6.028%	▲3.3 bp	▲4.8 bp
フィリピン(5年)	5.645%	▲1.5 bp	+1.3 bp
インド(5年)	6.913%	▲3.6 bp	▲0.3 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	32,908.27	▲0.4%	+0.3%
N225(日本)	30,887.88	▲1.4%	+0.7%
STOXX50(ユーロ圏)	4,218.04	▲1.7%	▲1.1%
ASX(オーストラリア)	4,066.80	▲0.9%	▲2.2%
FTSTI(シンガポール)	3,158.80	▲0.9%	▲1.7%
SSEC(中国)	3,204.56	▲0.6%	▲0.0%
KLSE(マレーシア)	1,387.12	▲0.7%	▲1.6%
SETI(タイ)	1,533.54	▲0.1%	▲0.2%
JKSE(インドネシア)	6,633.261	▲0.0%	▲1.7%
PSE(フィリピン)	6,477.36	▲0.5%	▲2.1%
SENSEX(インド)	62,622.24	▲0.6%	+1.4%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	253.85	▲0.6%	▲3.4%
金	1,962.73	+0.2%	+0.3%
原油(WTI)	68.09	▲2.0%	▲8.4%
銅	8,070.00	▲0.4%	+2.8%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	139.50	-	141.50
EUR/USD	1.0670	-	1.0770
AUD/USD	0.6430	-	0.6680
USD/SGD	1.3400	-	1.3600
USD/CNY	7.0600	-	7.1190
USD/MYR	4.5950	-	4.6780
USD/THB	34.30	-	34.97
USD/IDR	14900	-	15050
USD/PHP	56.10	-	56.55
USD/INR	82.55	-	82.89

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は139円台後半でオープン。月末日に伴う実需のフロー等もあってか139円台後半でもみ合い推移した。その後、中国5月PMIが市場予想を下回る結果となり景気減速感が高まったためかリスクオフの円買いが進みドル円は139円台前半まで下落した後139円台半ばで海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に軟調推移。中国製造業PMIが5カ月ぶりとなったことが嫌気されアジア通貨売り優勢の展開となった。

海外市場のドル円はロンドン時間において一時140円台を回復するも、長続きせず139円台後半でNYオープン。NY朝方に発表された米4月JOLT求人件数が予想を大幅に上回り、米労働市場が依然緊迫しているとの見方から、ドル買いで反応し140円台半ばまで上昇する。しかし、引き続き米債務上限問題を巡り、議会採決の行方の不透明さが懸念され、再びリスク回避の円買いに転じ、139円台後半まで値を下げる。NY時間午後は複数のFRB高官の「次回の会合で利上げをスキップできる」、「利上げ停止は金利ピーク意味せず」等の発言や、その後発表された米地区連銀経済報告では「物価上昇は多くの地区でペースが減速した」との内容が次回会合での利上げ期待を後退させ、139円台前半まで売られる展開に。その後は下げ渋り139円台前半にてクロス。

【金利】

金利市場はカーブがややスティフ化。指標はまちまちの内容で影響薄だったが、FED要人の発言を受け荒い値動きとなった。ジェファーソンFRB理事及びハーカーフィラデルフィア連銀連銀総裁が6月FOMCでの政策金利据え置きを示唆したことで債券買いが強まったが、その後は利下げ局面にはならないとの見方からの売りも入り、金利上昇。引けにかけては再び買い優勢となった。

【予想】

本日のドル円は上値の重い展開を予想。昨日はFRB高官から次回会合における利上げ見送りを示唆する発言が続いたことで6月会合における利上げ織り込みが低下。140円台での上値の重さが確認されたことも併せて考えるドルを買い進める動きは入りづらく、上値の重い推移となりそうだ。

【本日の予定】

(日本) 1Q 設備投資 / 企業利益 / 企業売上高
(日本) 5月 製造業PMI (確)
(日本) 国債入札(10Y)
(アジア) 1Q 豪 民間設備投資
(アジア) 5月 インド PMI製造業
(アジア) 5月 中国 製造業PMI
(欧州) 4月 ユーロ圏 失業率
(欧州) 5月 ユーロ圏 CPI (速)
(欧州) 5月 ユーロ圏 製造業PMI (確)
(欧州) 5月 独 製造業PMI (確)
(欧州) 5月 英 製造業PMI (確)
(米国) 4月 建設支出
(米国) 5月 ADP雇用統計
(米国) 5月 ISM製造業景況指数
(米国) 5月 製造業PMI (確)
(米国) ハーカーフィラデルフィア連銀総裁講演
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。